

伝承者養成事業50周年記念

# 能楽研修発表会

## 第23回

# 青翔会

全席指定

令和2年  
10月13日 火  
午後1時開演 (正午開場)

### 能 [観世流] 胡蝶

後シテ/胡蝶の精	前シテ/女	安藤 貴康
ワキ/旅僧	矢野 昌平	
アイ/所者	河野 佑紀	
笛	平野 史夏	
小鼓	幸 正昭	
大鼓	亀井 洋佑	
大鼓	澤田 晃良	
後見	観世鎮之丞	
	観世 芳伸	
地謡	浅見 重好	
	山階彌右衛門	
	浅井 文義	
	井上 裕久	

### 舞囃子 [金春流] 龍田

シテ	柏崎真由子
笛	高村 裕
小鼓	曾和伊喜夫
大鼓	柿原 孝則
太鼓	姥浦 理紗
地謡	安達 裕香
	村岡 聖美
	岩松 由実
	林 美佐
	中野由佳子
シテ	谷 友矩
笛	高村 裕
小鼓	岡本はる奈
大鼓	亀井 洋佑
地謡	狩野 祐一
	佐藤 陽
	友枝 真也
	佐藤 寛泰
	友枝雄太郎

### 舞囃子 [喜多流] 女郎花

シテ	谷 友矩
笛	高村 裕
小鼓	岡本はる奈
大鼓	亀井 洋佑
地謡	狩野 祐一
	佐藤 陽
	友枝 真也
	佐藤 寛泰
	友枝雄太郎

### 狂言 [和泉流] 酢薑

シテ/酢売り	野村万之丞
アド/薑売り	野村拳之介
後見	野村 万蔵

### 能 [宝生流] 清経

シテ/平清経	川瀬 隆士
ツレ/妻	内田 朝陽
ワキ/淡津三郎	御厨 誠吾
笛	栗林 祐輔
小鼓	寺澤祐佳里
大鼓	柿原 弘和
後見	宝生 和英
	亀井 雄二
地謡	小倉伸二郎
	辰巳満次郎
	今井 泰行
	高橋 亘
	和久莊太郎

### 入場料金 (全席指定)

正面 / 1,500円 脇正面 / 1,000円 中正面 / 700円

学生 : 脇正面 / 700円 中正面 / 500円 ※障がい者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

### 発売口

電話・インターネット予約開始 / 9月16日(水) 午前10時より

窓口発売開始 / 9月17日(木) <チケット売場 午前10時~午後6時>

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

主催: 独立行政法人日本芸術文化振興会



# 国立能楽堂

伝承者養成事業50周年記念  
能楽研修発表会

第23回

# 青翔会

令和2年 10月13日(火) 午後1時開演 正午開場、午後5時10分頃終了予定

\*字幕表示はありません

## 能 胡蝶

こちよう

旅の僧が一条大宮の旧跡で梅花を愛でていると、胡蝶の精が現れ、自分はいくつもの花と戯れることが出来るのに、梅の花だけに縁が薄いと嘆きます。僧が回向すると、再び胡蝶の精が現れ、御法の力で梅の花と戯れることが出来るようになったと喜び、舞を舞います。

後シテの胡蝶の精が、梅に戯れ遊ぶ場面では、太鼓入りの「中ノ舞」を舞います。「序ノ舞」よりも軽やかで華やかな舞であり、蝶が楽しげに飛び回る様子が思い浮かべられます。

作者は観世小次郎信光で、「船弁慶」や「紅葉狩」といった劇的な構成が多い信光の作品群の中で、純粹に舞の美しさを鑑賞する作品となっています。

## 舞囃子 龍田

たつた

龍田明神に参詣に来た僧を案内した巫女は龍田姫でした。やがて神殿から現れた龍田姫の神霊は、美しい龍田の紅葉を愛でて、「神楽」を舞います。

「神楽」は巫女や女体の神が舞う舞事です。龍田明神のご神体と言われる紅葉と、それを愛でる古歌を絡ませて、優雅に舞われます。

## 舞囃子 女郎花

おみなめし

石清水八幡宮に参詣した僧が、今が盛りめの女郎花を折ろうとすると、花守の老人が現れ、それを止めます。老人は、小野頼風

青翔会は、国立能楽堂能楽(三役)研修生をはじめとする若手能楽師の技能研鑽のための公演です。次代を担う若手能楽師たちが、日頃の稽古の成果をご披露するため、懸命に舞台を勤めます。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止となった6月の第22回青翔会で上演予定であった、能「胡蝶」(観世流)に加え、能二番の特別番組にて上演をいたします。皆様のあたたかいご声援をお待ち申し上げております。

の霊でした。

やがて妻の霊とともに現れた頼風は、悲劇に終わった夫婦の恋物語を語ったのち、いまま恋の妄執に苦しむ様子を語り(二翔)、僧に回向を頼むと消えていきます。

## 狂言 酢薑

すはじかみ

都へやって来た薑売りは、同じく都に来た酢売りと出会います。お互いに商売を支配する役目の二人は、断りもなく商売をすることはならぬと言いつ争いを始めます。そこでどちらの商売が由緒正しいか、系図くらべを始めるのですが...

## 能 清経

きよつね

平清経の家臣、淡津三郎は、豊前国柳ヶ浦で入水して果てた主人の遺髪を持って、都の清経の妻を訪ねます。三郎から話を聞いた妻は、討ち死にか病死ならまだしも、自分を残して自殺したことを嘆きます。

妻が涙にくれて床に就くと、夢の中に清経の霊が現れました。清経は、平家の負け戦の様子を語り、宇佐八幡の神にも見放された自身の絶望の様子を語ります。そして、全ての望みを失った月夜の晩、船の上で笛を吹き、今様を謡って死んだと妻に告げます。

戦に敗れた武将が妻の夢枕に立つという、修羅物の中でも特殊な構成を持ち、诗情と哀愁に充ちた世阿弥の代表作です。



[交通のご案内]

JR(総武線)千駄ヶ谷駅下車 徒歩5分  
都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口 徒歩5分  
東京メトロ(副都心線)北参道駅下車 出口1・2 徒歩7分

\*駐車場がございませんので車での御来場は御遠慮ください。

入場料金 (全席指定) 正面 / 1,500円 脇正面 / 1,000円 中正面 / 700円

学生: 脇正面 / 700円 中正面 / 500円

※障がい者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

発売日 電話・インターネット予約開始 / 9月16日(水) 午前10時より

窓口発売開始 / 9月17日(木) 午前10時より

(チケット売場 午前10時~午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

電話 国立劇場 チケットセンター (午前10時~午後6時)

0570-07-9900 03-3230-3000 (一部IP電話等)

インターネット 国立劇場チケットセンター

検索

●プレイガイド=チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/>  
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

主催: 独立行政法人日本芸術文化振興会

beyond  
2020



国立能楽堂

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1  
TEL. 03-3423-1331(代)  
<https://www.ntj.jac.go.jp>

お願い ●出演者などの変更の場合はご了承ください。●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。●開演中は、時計等のアラーム音や携帯電話の電源をお切りください。●開演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。